

## 37 需要フロンティア拡大のための研究開発 (委託プロジェクト研究)

【626(561)百万円】

### 対策のポイント

国産農林水産物の需要拡大に資する技術開発を行います。

### <背景/課題>

- ・我が国の農林水産物については、**海外市場のニーズに合致する品種や栽培法の選定**を行うことが、輸出拡大を目指す上で重要です。
- ・輸出戦略の重要品目である**ブリ類**については、**通年出荷体制の構築と病害虫対策等を通じた低コスト化**が大きな課題となっています。
- ・高齢化や健康志向の高まりにより**需要の増大が見込まれる医薬品や医療用素材への農畜産物の活用**により、**新しい需要の創出**が期待されています。

### 政策目標

○国産農林水産物について、1,000億円程度の**新たな需要を創出**(平成32年度)

### <主な内容>

#### 1. 国産農産物の多様な品質の非破壊評価技術の開発

海外市場のニーズに合致する品種や栽培方法の選定、国内外の市場における国産農産物の訴求ポイントの明確化等に資するため、**光学的評価技術**など、**国産農産物の多様な品質(食味、食感、香り等)**を生産現場において**非破壊で迅速に評価**することを可能とする技術を開発します。

#### 2. 養殖ブリ類の輸出促進のための低コスト・安定生産技術の開発

養殖ブリ類の**安定的な通年出荷体制の確立と生産コストの削減**に資するため、**ブリの人工種苗**を、通常の天然養殖用種苗を使用するよりも**早期に低コストで安定的に生産する技術**と、**ゲノム情報等**を活用して**ブリ類の病害虫耐性品種等**を短期間で**育種する技術**を開発します。

#### 3. 医薬品作物、医療用素材等の開発

開発が進められている**スギ花粉症治療薬**となる**コメ**や、**カイコ・家畜由来の原料**を用いた**医療用素材等**について、**動物やヒトでの安全性・有効性の評価試験**等を実施します。

委託費  
委託先：民間団体等

お問い合わせ先：

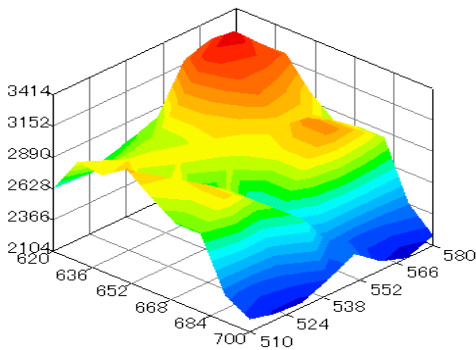
- 1、3の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官(食の安全、基礎・基盤)  
(03-3502-7435)
- 2の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官(環境)  
(03-6744-2216)

# 需要フロンティア拡大のための研究開発

## 背景・現状

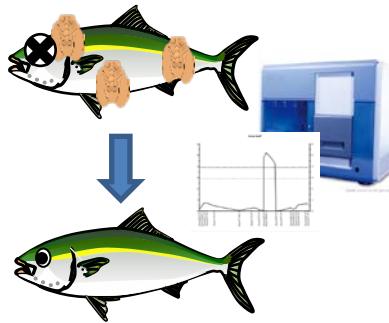
- ・我が国の農林水産物については、海外市場のニーズに合致する品種や栽培法の選定を行うことが、輸出拡大を目指す上で重要
- ・輸出戦略の重要品目であるブリ類については、通年出荷体制の構築と病害虫対策等を通じた低コスト化が大きな課題
- ・高齢化や健康志向の高まりにより需要の増大が見込まれる医薬品や医療用素材への農畜産物の活用により、新しい需要の創出が期待されている

国産農産物の多様な品質の  
非破壊評価技術の開発



利用する基盤技術の例  
(励起蛍光マトリクス)

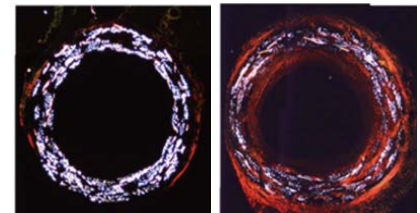
養殖ブリ類の低コスト・  
安定生産技術の開発



病害虫に強い品種をゲノムを利用し  
短期間で育成  
→生産コストの低減

農畜産物の機能を活用した  
医薬品作物、医療用素材等  
の開発

小口径絹人工血管



移植後2週間 移植後12週間

絹人工血管(白色部分)が  
移植後徐々に生体成分に  
置き換わる

国産農産物の多様な品質を詳細に把握することを通じて、海外市場のニーズに合致する品種や栽培方法を選定するための技術の開発

成果を現場に適用  
(平成30年度以降)

・人工種苗を通常の天然養殖用種苗を使用するよりも早期に低コストで安定的に生産する技術の開発  
・ゲノム情報を活用して病害虫耐性品種等を短期間で育種する技術の開発

成果を現場に適用  
(平成29年度以降)

スギ花粉症治療米、小口径絹人工血管等の有効性・安全性の確認

医薬品・医療機器としての承認取得  
(平成32年度以降)

国産農林水産物の需要を、2020年までに1,000億円程度拡大